

# 目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は   ☆印の箇所を記入してください。

## I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	法学部
大項目	5 学生の受け入れ
中項目	
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。
要素	

## II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

### 《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 各種入試ごとに学生受入方針(アドミッション・ポリシー)を策定する。	→ 「入試形態と受入方針策定済みの入試形態」	A	A	A	A	
2. 各種入試の追跡調査・分析を行い、またその一環として学科別入試の追跡調査と分析を行う。	→ 「追跡調査の項目を設定し分析する責任組織の有無」、「追跡調査・分析の進捗状況・結果の報告書」	C	C	B	B	
3. 追跡調査の結果や教員の負担を考慮して、最適な入学者選抜方法と各募集人員に関する構想を作成する。	→ 「検討組織の有無」、「入試方法・募集定員に関する構想の有無」	D	C	B	B	
4. 各種入試の追跡調査の結果をふまえて、一般入試による入学者比率の引き下げ目標を設定する。	→ 「学部・学科の志願者・合格者・入学者の推移(大学基礎データ)」、「一般入試・各種入試の適切な入学者比率に関する目標の有無」	D	C	B	B	

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

## 《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	指定校・協定校・高等部の各推薦入試以外については、2010年6月以降、『入試ガイド 空の翼』や大学ホームページ（学部入試情報サイトや法学部サイト）上で、学生の受け入れ方針を公表している。
目標2	一般入試のほか、AO入試、スポーツ選抜入試、高等部推薦、指定校・協定校推薦、帰国生徒入試など、多様な選抜方法を採用している。さらに、2014年度からは、グローバル入試を実施する。また、2012年度においても、2010年度および2011年度に引き続き、入試検討委員会で、追跡調査に基づきながら、指定校入試に係る指定校先の選定等の見直し・検討を行い、教授会においても審議した。
目標3	2012年度入試（2011年度実施）から、スポーツ選抜入試を導入し、入学者の学力確認のための筆記試験を実施している。さらに、2014年度入試（2013年度実施）から、グローバル入試を実施することとしている。入試制度のあり方については、入試検討委員会や入試実行小委員会で入試実施後に検証を行い、教授会で適宜検討している。なお、収容定員に対する在籍学生数比率は、2009年度では110.2%であったが、同年度以降はこれを下回っており、2013年度には105.4%へと減少した。
目標4	入学者に占める一般入試入学者の比率を段階的に50%（当面は、60%）まで引き下げるとした2009年度設定の目標について、2010年度入試（2009年度実施）において65.7%、2011年度入試（2010年度実施）において59.9%、2012年度入試（2011年度実施）において55.3%と推移し、2013年度入試（2012年度実施）では若干の上昇があり58.2%となったが、2009年度入試（2008年度実施）の70.9%と比較して比率の引き下げが着実に進捗しており、当面の目標60%を達成している。しかし、最終的な目標値である50%には未達である。
備考	

## 《評価指標データ》

（特定項目データ）本項目は数量的なデータによる評価（現状分析）が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【法学部】		単位	2009	2010	2011	2012	2013	備考
指標1	入学定員	名	680	680	680	680	680	
指標2	志願者総数	人	6,507	5,791	5,182	4,779	5,027	
指標3	合格者数	名	2,146	1,902	1,991	1,950	1,816	
指標4	入学者数	名	763	654	626	691	701	
指標5	志願者倍率	倍	9.6	8.5	7.6	7.0	7.4	志願者÷入学定員
指標6	入学定員に対する入学者数比率(5年間平均)	倍	1.02	1.02	0.99	1.00	1.01	入学者数÷入学定員 (小数点第二位以下切捨)
指標7	入学者に占める一般入試入学者の比率	%	70.9%	65.7%	59.9%	55.3%	58.2%	一般入試入学者数÷入学者数 (注)一般入試にセンター入試を含む
指標8	収容定員	名	2,660	2,690	2,720	2,720	2,720	
指標9	在籍学生数	名	2,932	2,917	2,837	2,916	2,866	
指標10	収容定員に対する在籍学生数比率	%	110.2%	108.4%	104.3%	107.2%	105.4%	在籍学生数÷収容定員
指標11	編入学生数	名	(23)	(25)	(16)	(14)	(14)	編入学定員がない学部でも、編入学生がいれば記入する。※その場合は()で記入
指標12	編入学定員	名	—	—	—	—	—	
指標13	編入学定員に対する編入学生数比率	%	—	—	—	—	—	
指標14	学部・学科ごとの退学者数	名	50	41	41			

※指標11…編入学定員を持たない学部の編入学生数は()で記入